

2019年11月8日

会社名： 日本エンタープライズ株式会社  
(東証一部 コード番号 4829)  
代表者名： 代表取締役社長 植田 勝典  
問合せ責任者： 常務取締役 田中 勝

## 「2019世界VR産業大会」登壇のご報告

日本エンタープライズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：植田勝典）の常務取締役 技術本部長 杉山浩一が、10月19日（土）～21日（月）に中国・江西省で開催された中国政府主催「2019世界VR産業大会」にて登壇してまいりましたので、ご報告いたします。

「2019世界VR産業大会」は中国政府の行政部門である「工業信息化部門」が主催する中国最大規模のVR（仮想現実）博覧会。中国政府は5Gの商業化を踏まえ、2023年までにVR市場が1000億元（1兆5550億円\*1）になると見込んでおり(\*2)、「VR+5G」をテーマにした本会にはアメリカやドイツ、ロシアなど約30カ国から業界のリーダーや著名学者らが集まりました。

杉山は、併催された23会議の一つに各国有識者に並び登壇し、「ゲームにおけるVR活用の展望」と題し、日本国内におけるVRの活用事例や、現実拡張技術「SR（代替現実）」の紹介のほか、自身がVRゲームの開発に携わった経験を踏まえて、VRに加えてAR（拡張現実）、MR（複合現実）、SRを含めたxR（クロスリアリティ、VR/AR/MR/SRの総称）の5G時代における活用の可能性と課題について講演しました。

当社においても最新の技術を取り入れながら、今後も様々なアプリゲームの開発に取り組んでまいります。

\*1 1元15.55円換算（2019年11月7日現在）

\*2 出典：世界VR産業大会

### «「2019世界VR産業大会」概要»

- 主催 中華人民共和国工業信息化部門
- 会期 2019年10月19日～21日
- 場所 中国・江西省



常務取締役 杉山浩一（後列右から6人目）



### 常務取締役 技術本部長 杉山 浩一

1970年生まれ。学生時代から様々なゲームなどのコンテンツ開発に携わる。システム開発会社の経営を経て、2000年に当社入社。交通情報「ATIS」やゲームなどのアプリ開発をはじめ、当社の各種サービスを技術部門から牽引し、VRを用いたスマホゲームアプリの開発にも従事。

### 本件に関するお問合せ

<報道関係者> 日本エンタープライズ株式会社（広報・IRグループ）  
TEL:03-5774-5730 EMAIL:ir@nihon-e.co.jp <http://www.nihon-e.co.jp>